

## 2022 年度ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリング結果の概要について

2023 年 9 月 1 日

株式会社 諸岡

### ●テーマ(1):自然環境にやさしいものづくり



#### ●取組内容

- A) 全社的な環境マネジメント体制構築
- B) 再生可能エネルギーの利用促進
- C) 廃棄物リサイクル推進

#### ●主な目標/KPI と進捗状況

<目標:バリューチェーン全体での GHG 排出量削減>

[KPI] 2030 年度までにスコープ 1,2 の GHG 排出量の※2020 年度比 50%削減

(※2020 年度実績値:693t)

[進捗状況]

・2020 年度と対比した 2021 年度/2022 年度のスコープ 1,2 の GHG 排出量は下表の通りです。

	スコープ 1	スコープ 2	計
2020 年度	403t	290t	693t
2021 年度	346t	97t	443t
2022 年度	451t	28t	479t

・スコープ 2 は、太陽光発電の各施設での利用拡大並びに再エネ電力の利用(買電)により順調に削減しています。一方、スコープ 1 は、2021 年度には減少したものの 2022 年度では 2020 年度より増加しています。これは、2022 年度に入り、「ポストコロナ禍」を見据えた経済活動の活発化に伴う展示会や各種イベント、対面での商談機会が増加したことによるものと推測しています。今後の更なる経済活動の活発化を見据え、社用車の電動化等を積極的に検討して参ります。

<目標:メンテナンス過程における廃棄物の削減>

[KPI] 2027 年度までにゴムクローラ及び油圧機器の新たなリサイクル手法の確立

[進捗状況]

・ゴムクローラのリサイクル(ゴムと鉄の分離)については、現存技術の応用によるリサイクルの可能性を 3 件(3 社)調査しました。3 件共に技術的難易度が高く、またコスト的にも実現可能性が低いと判断しました。現在、他の技術を応用した方法を調査中であります。

・油圧機器のリサイクル(オーバーホール)については、現在専門メーカーに外注しているものを自社で実施するために必要な技術及び設備等について調査中の段階です。

<目標:廃木材リサイクルによる廃棄物の削減>

[KPI] 木材破碎機を 2027 年度までに※2021 年度販売実績をベースに累計 756 台販売

(※2021 年度販売実績:37 台)

[進捗状況]

・2022 年度の販売実績は、計画:64 台に対してコロナ禍からの回復途上でもあり 33 台(累計:70 台)の結果となりました。

しかしながら近年、バイオマス燃料としてのチップ材への注目度が高まり、またアジア諸国でも同様のニーズが高まりつつあることを踏まえ、当社では 2023 年 4 月より営業本部内に「林業・環境販促課」を新設致しました。今後、実演などの販売促進活動に積極的に取り組んで参ります。

## ●テーマ(2):生き生きと働くことができる職場環境の提供



### ●取組内容

- A) 「働き方」「休み方」の改善
- B) 労働環境の改善
- C) 従業員等の能力向上に対する支援
- D) 女性従業員の活躍促進

<目標:従業員の健康増進>

[KPI] 2027 年度までに有給休暇取得率 90%以上を達成し、その水準を維持 (2021 年度実績:79.3%)

[進捗状況]

・2022 年度の有給休暇取得率は 88.2%(一人当たり平均 13.8 日)となりました。2021 年度は有給休暇取得率 79.3%(一人当たり平均 12.4 日)であり、約 9 ポイント上昇しました。今後とも有給休暇取得促進策の立案と実施を積極的に進めて参ります。

[KPI] 2027 年度までに時間外労働時間 6.6 時間/月以下を達成し、その水準を維持

(2021 年度実績:7.6 時間/月)

[進捗状況]

・2022 年度の時間外労働時間は 10.7 時間/月の実績でした。原材料調達の遅れ等による生産の混乱が大きな要因と捉えています。今後とも生産性の向上を図ると共に、開発部門や営業部門での業務の効率化を図り、時間外労働時間の削減に努めて参ります。

<目標:女性が活躍できる風土の醸成>

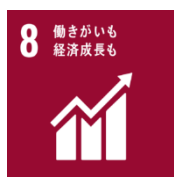
[KPI] 2030 年度までに女性管理職比率 25%以上 (2021 年度実績値:11.8%(6/51 名))

[進捗状況]

・2022 年度の女性管理職比率は 12.2%(6/49 名)でありました。管理職者全体の人数が退職等で減少した結果であり、大きな前進とはなりませんでした。

ここ数年は新卒の女性社員も大幅に増え、今後は階層別教育/研修の充実に加え、女性社員向け研修の具体的な立案/実施を行うことで、女性管理職の比率を高めるよう努めて参ります。

### ●テーマ(3):成長分野・市場への参入による地域経済への貢献



#### ●取組内容

- A) 新興国での市場拡大
- B) ICT を活用した新製品開発
- C) アフターサービスの強化

<目標:アジア市場への進出>

[KPI] 2027 年度までにアジア市場の売上高 2021 年度比 200%(3.0 億円)以上

(2021 年度実績:1.5 億円)

[進捗状況]

・2022 年度のアジア市場の売上高は 2.2 億円の実績となりました。主にコロナ禍で商談が途切れていた韓国向けが伸長しました。今後は、インドネシアやタイなど著しい成長が見込まれる国・地域への販促活動を強化して参ります。

<目標:アフターセールス市場での新たな価値の提供>

[KPI] 2027 年度までにメンテナンス事業の売上高 2021 年度比 1200%以上

(2021 年度実績:1.3 億円)

[進捗状況]

・2022 年度のメンテナンス事業売上高は 1.55 億円の実績でした。

メンテナンス事業売上高を拡大するには、当社サービス部門の強化だけではなく、「サービス協力工場」である企業の方々の理解・協力が必須であり、2023 年 2 月には、全国の主な「サービス協力工場」向けにメンテナンス事業に対する当社方針の説明会を開催し、賛同を頂きました。

今後はアフターセールスに必要なソフトや設備の導入、「メンテナンスパック」の提案などの施策を着実に実行し、積極的な展開を図って参ります。